

平成 29 年度 人口減少問題を考える会



施策テーマは2つ

① 子育て支援（20代から40代）
② 移住者増加に向けた支援

平成29年度メンバー

ファシリテーター

高知学園短期大学 坂本ひとみ先生

「人口減少問題を考える部会」メンバー

- ①こども課 岩元真理
- ②学校教育課 石丸博美
- ③生涯学習課 山脇智希
- ④健康対策課 石川奈美
- ⑤市民保険課 高橋 聖
- ⑥福祉事務所 山中康弘
- ⑦高齢者介護課 名倉海子
- ⑧商工水産課 中屋健一郎
- ⑨環境対策課 廣田祐有樹
- ⑩人権課 吉田沙栄
- ⑪企画財政課 嶋内裕子
- ⑫移住相談員 小泉穂乃佳
- ⑬地域おこし協力隊 入水香瑠
- ⑭保護者代表
- ⑮保護者代表
- ⑯工科大学 上江洲わかな
- ⑰工科大学 北代継之助
- ⑱工科大学 戸梶大地
- ⑲工科大学 山村果南
- 事務局地域支援課 近藤 誠
- 地域支援課 本田知花
- アドバイザー
- 工科大学 都築五明先生

第1回目 7月20日 13:30～16:00

本庁3階 第4会議室

会議内容

1. 香南市の人口ビジョンについて ——
企画財政課 浜田補佐 10分
2. これまでの取り組み内容について ——
地域支援課 近藤 10分
3. ワークショップ ——
5人4班体制
・アイスブレイク 10分
・ワークショップ 120分

第2回目 9月6日 13:30～15:30

本庁3階 第4会議室

会議内容

1. ワークショップ

第3回目 10月4日 14:30～17:30

本庁3階 第4会議室

会議内容

1. ワークショップ 120分
2. 市庁議メンバーへプレゼン 50分
3. 市長総括 10分

1 班

- ⑯工科大学 上江洲わかな
- ⑭保護者代表
- ①こども課 岩元真理
- ④健康対策課 石川奈美
- 地域支援課 本田知花
- 地域支援課 近藤 誠 フリー

2 班

- ⑱工科大学 戸梶大地
- ⑮保護者代表
- ②学校教育課 石丸博美
- ⑧商工水産課 中屋健一郎
- ③生涯学習課 山脇智希
- 地域支援課 岩田由子
- 地域支援課 岡林栄一

3 班

- ⑰工科大学 北代継之助
- ⑫地域支援課 小泉穂乃佳
- ⑩人権課 吉田沙栄
- ⑨環境対策課 廣田祐有樹
- ⑥福祉事務所 山中康弘

4 班

- ⑲工科大学 山村果南
- ⑬地域支援課 入水香瑠
- ⑦高齢者介護課 名倉海子
- ⑪企画財政課 嶋内裕子
- ⑤市民保険課 高橋 聖

1 班「コー娘」

- ⑬工科大学 上江洲わかな
- ⑭保護者代表 山崎和佳子
- ①こども課 岩元真理
- ④健康対策課 石川奈美
- 地域支援課 本田知花



子どもの教育をメインに

1 学校体験キャンプ

短期

■子どもの喜ぶ姿を見て保護者が移住を考えるきっかけにする。

「夏休み自由研究パックツアー」

- ・夏休み期間に実施
- ・先生方の協力が必要
- ・いくつかのコースを選べる
- ・自由研究となる活動を体験する
- ★関係課 学校教育課

関係課からの意見

【学校教育課】

学校の教職員の協力については夏休み中、研修(県教委主催等含む)や会が集中している。休暇も取りづらいことから、今年度から香南市では学校閉庁日(8/9~15)を設けている状況がある。

【生涯学習課】

夏休み期間中で学校外で取り組むべきはずの自由研究に先生方の協力を必要するのは違和感があります。

2 香南 life まるごと体験パック

短期

■香南市の生活をリアルに体験し我がまちの良さを知る
「保育所、幼稚園、小学校にも通える」

- ・滞在は1週間程度
- ・お試し住宅を野市に作る
- ・家具、家電付き(有償)
- ・実際の生活を体験してもらう
- ★こども課、学校教育課、地域支援課

関係課からの意見

【生涯学習課】

NPO法人こうなんスポーツクラブに事業委託をしていますが、ALT関連の委託事業は、現在ありません。海の駅クラブへのALTの方との体験委託事業は行っておらず、現在は、小中学校を対象としてマリンスポーツ体験を委託しています。

【学校教育課】

地元の小中学校での受け入れは可能です。

【こども課】

【利用できる事業】現在3ヶ所の保育所で開設している「預かり保育」で体験する。

【対象年齢】事業としては1歳以上の未就園児であるが、対象は3歳以上からが体験として適していると思われる。

- ①こどもの人数に対しての保育士の確保が難しい、また年間を通していつ体験を利用するか把握できないため、初年度は既存の事業で対応する。
- ②利用にあたっての手続きは事業利用者と同じようにする。(申請、面接、予約をとる。利用料の負担(2,300円/日)、利用日数限度は3日/週などの条件も同じ。)

3 香南市を英語村に！ **長期**

■香南市の生活をリアルに体験し我がまちの良さを知る
「海外文化のコミュニティを知る異文化の理解による知性向上」

- ・外国人向け住居(市が保証人)
 - ・“集まる場”(カフェ経営等)を作る
 - ・ALTの教員をきっかけに人探し
 - ・子どもだけでなく大人にもメリットがあるような場作り
- ★地域支援課、生涯学習課?学校教育課?(切り口次第)

関係課からの意見

【学校教育課】

現在ALTは5人で内3人は業務委託である。市で雇用している2人についても複数校で兼務。知り合いの外国人への声かけ等はできると思うが、行事等へのかかわりは校務なのかボランティアか等をきちんと説明する必要がある。

【生涯学習課】

ねらい 社会教育による英語推進活動により、移住の付加価値を高める。

- ①図書館との連携・・・読み聞かせで毎週どこかの館で英語紙芝居・手遊びの実施。
小学校・中学生・高校生が読み手となることにより、リーダ育成も併せて図る。
- ②保幼小中PTA連携・・・英語を通じた学習を、上級生が下級生に教えるなどして底上げを図る。
- ③公民館事業・・・ALT教員による、学習機会の拡充(英語料理教室、野外活動他)

2班「チームこたつ」

- ⑩工科大学 戸梶大地
- ⑮保護者代表
- ②学校教育課 石丸博美
- ⑧商工水産課 中屋健一郎
- ③生涯学習課 山脇智希
- 地域支援課 近藤 誠 フリー



子育て支援を目玉に

1 H31年開設予定の 総合子育て支援センターの充実へ

■市外から香南市へ通勤されている方も、**短期**病後児の子どもを預けられるようにする。

→市内企業は子育て環境が良いことが人材確保のPRになる。

→市外から働きに来ている人は、香南市で住みたいとなるのでは？

■母親の人材バンク **短期**

総合子育て支援センターは、保育や幼稚園に子どもを預けていない親子の「交流の場」として多く方がこれから利用をされることと思います。その中で、母親が子育てしながら仕事ができる情報をマネジメントする機能もつくってみてはどうか？母親の社会との接点をつなぐことで、社会との孤立を防ぐ。

そのための施策として、

- マネジメントする人は地域おこし協力隊を雇う。
- 紹介した仕事の時間中のみ子どもを預かる。
- 仕事の内容は、在宅や子連れで出来る仕事。または、短時間子どもの預かりができれば、仕事の幅も広がる。

例えば、すぐに出来る市役所での仕事

- ・各支所や本庁での広報オリコミ作業。
- ・オリコミ文章の印刷作業。
- ・各種通知文章の封入作業。
- ・各課での各種資料の印刷作業。
- ・会議のテープおこし

2 高知で進学校フェスティバル **短期**

■県内で進学できる学校を全て集めて、ヤ・シィパークや三宝山等で、「高知で進学フェスティバル」を開催する。学校案内の他、学生によるPRや体験などとおして、県内進学のきっかけにする。高知で進学して、高知で就職できる業種を知ってもらう。

専門学校23校

- 高知県立農業大学校
- 高知県立林業学校
- 高知理容美容専門学校
- 高知文化服装専門学校
- R K C 調理製菓専門学校
- 高知ペットビジネス専門学校
- 高知外語ビジネス専門学校
- 国際デザイン・ビューティカレッジ
- 高知情報ビジネス&フード専門学校
- 高知開成専門学校
- T i a c 土佐情報経理専門学校
- 高知医療学院
- 高知福祉専門学校
- 四国医療工学専門学校
- 高知病院附属看護学校
- 土佐リハビリテーションカレッジ
- 平成福祉専門学校
- 近森病院附属看護学校
- 高知県医師会看護専門学校
- 龍馬看護ふくし専門学校
- 高知リハビリテーション学院
- 高知県立幡多看護専門学校
- 四万十看護学院

大学短大6校

- 高知職業能力開発短期大学校 (ポリテクカレッジ)
- 高知大学
- 高知県立大学
- 高知工科大学
- 高知短期大学
- 高知学園短期大学

**試しに3校で
イベントをスタート**

高知大学農学部
工科大学
ポリテクカレッジ

3 香南の学割 **短期**

■県内29校へ進学した学生、もしくは県内就職した学生へ、東部自動車学校での免許の助成を行う。また、県外へ進学し県内で正社員として就職かつ市内へ住所をおく学生には、引っ越し費用を助成。

平均約 260人 × 30,000 = **7,800,000円**

4 給食費を無料にする **長期**

■若い世代の定住のために、給食費の無料化を考えてはどうか？

子育て世代の負担を軽減。

一月の給食費。

幼稚園1食の給食代 250円×21日=5,250円

小学校 270円×21日=5,670円

中学校 300円×21日=6,300円

年間の給食は約190日。

幼稚園29.9園児数 776人×190日×250円=36,860,000円

小学校29.9児童数1,761人×190日×270円=90,339,300円

中学校29.9児童数 831人×190日×300円=47,367,000円

(参考) 174,566,300円

生活保護費、就学援助費、特別支援教育で約1,300万がH28決算
では支出されている。

■就学援助制度により認定された小中の児童生徒は、全額無料
となるが、同じ世帯の幼稚園児は免除されない。「市町村民税が
非課税であること」を条件に免除制度があったら。

H29.9現在で21人が該当する。

21人×190日×250円=997,500円で約100万円 **短期**

5 保育園・幼稚園の第2子無料化

■保育所幼稚園へ同時入所の第2子保育料を半額から無料とする。

※国…同時入所の第2子は半額。

H29.6 対象者184人 事業費 約3,000万 **長期** **短期**

6 保育園・幼稚園の第3子無料化

■県制度で対象外となっている第3子(3~5歳)を無料とする。

※国…保育所幼稚園へ同時入所の第3子は保育料を無料

※県…18歳未満の子どもを3人以上扶養しており、第3子以降で、
かつ2歳児までの子どもの保育料を無料

H29.6 対象者149人 事業費 約2,300万 **長期** **短期**

3班 「チームベビーパウダー」

- ⑰工科大学 北代継之助
- ⑫地域支援課 小泉穂乃佳
- ⑩人権課 吉田沙栄
- ⑨環境対策課 廣田祐有樹
- ⑥福祉事務所 山中康弘



親も子どもも喜ぶ取り組み

1 ～香南市版リアル「こなんっこタウン」計画～

短期

■香南市に実際にあるお店を元に、赤岡商店街でとさ子タウンの香南版を開催する。

- ・子どもたちが運営する町の中で起業もでき、税金も払うような仕組みになっており、子ども達が楽しく社会のしくみを学ぶことができる。
- ・地域のお店にも参加協力をしてもらうことで、子どもと地域が繋がり、地域愛が育まれる。
- ・働いた分の仮想コインで買い物ができる為、働くことの面白さを知ることができる。
- ・赤岡商店街で行うことで商店街の活性化にも繋がる。
- ・季節毎に年に4回程度開催する。

(例)「とさっ子タウン」
規模：400人
50種類の仕事
期間：2日間

予算：140万
協賛金：40～50万
助成金など：50万
人件費：ボランティア

参加費：1人1,000円×400人=40万

*とさっ子タウンでは、こどもの町を自分の地域でもやりたい!という人向けに「こどもの町」の運営、立ち上げなどに関する講師・講演会出張を行っている。

(講師費：1～3万円程度)



とさっ子タウン内の仕事やアカデミーの紹介 (一部)			とさっ子新聞社	しばてん商店街	アロマ入浴剤ショップ
<p>市役所</p> <p>タウン内の現状を調べたり、新規店舗開設についての許可申請を行います。 協力：高知市地域コミュニティ推進課、(有) 高知市税務</p>	<p>とさっ子放送局</p> <p>レポーター、アナウンサー、ディレクター、技術の仕事を担当し、毎週の番組をつくりあげます。番組内の「今日の天気予想」が最も人気になっています。 協力：高知放送局、(有) アナウンサー</p>	<p>とさっ子銀行</p> <p>「お客さまへの接し方」「お金の数え方」を練習して窓口業務を行います。給料を支払ったり、預金を預けたりします。「ありがとう」が大好きです。 協力：(株) 高知銀行</p>	<p>とさっ子新聞社</p> <p>まちの中の出発点を取材し写真撮影も行き、「とさっ子タイムス」の記事を作成し、印刷して発行します。販売も行います。本物の記者も働くような写真を撮影することもできます。 協力：高知新聞社 NE 推進部、毎日新聞高知支店、読売新聞高知支店、(有) 高知新聞社</p>	<p>しばてん商店街</p> <p>ポップコーン、和菓子、宇治餅、パン、アイス、ジュースのほか、お菓子工房で作ったケーキ等を販売します。 協力：(有) まごち食品、高知県農業センター、高知県農業センター、高知県中野、高知県産品、(株) はるのハーベスト、(有) スタジオ・オカムラ、ひまわり乳業 (株)、フジ・グラス、フレグランスの工房</p>	<p>アロマ入浴剤ショップ</p> <p>それぞれに有効成分の異なる入浴剤の特徴を覚え、POPを作成し、販売計画を立てて販売します。ひのき風呂で製造した「とさっ子のき風呂」(ひのきの香りオイルをつけ風呂印を押したひのき風呂)を販売します。 協力：松田薬品 (株)、(株) 西ノドラマ</p>
<p>税務署</p> <p>窓口でとさっ子タウン市民から税金を徴収したり、税金がどのように使われているかの広報活動を行います。 協力：高知市税務教育研究会</p>	<p>警察署</p> <p>制服・制帽姿でまちの中をパトロールしたり、指紋の採取を行います。 協力：高知県警察本部</p>	<p>清掃局</p> <p>タウン内のゴミの清掃、ゴミの分別に関する広報活動などを行います。 協力：(株) 環境の杜こうち、西高知環境パートナーシップオフィス</p>	<p>とさっ子写真屋</p> <p>写真撮影の仕方を学び、市民証明の写真撮影や、プリクラ写真撮影を行います。 協力：(株) 高知写真写真事務所</p>	<p>花屋</p> <p>ディスプレイなどの店づくり、鉢のラッピングやアレンジメントなどの商品づくりをします。 協力：花と緑 511</p>	<p>お菓子工場</p> <p>ブッセやゼリーを作り、梱包して、しばてん商店街の店舗へ配達します。 協力：(株) 新青</p>
<p>アクセサリーショップ</p> <p>ビーズなどを使って手作りのアクセサリーを制作し販売します。 協力：ビーズとボタンの店 Pass+Time</p>	<p>図書館</p> <p>とさっ子タウン市民に本の貸し出しを行ったり、本棚に本の箱かや絵を描き、それを組み合わせて夢の図書館をつくったりします。 協力：高知市民図書館、(財) 高知こどもの図書館</p>	<p>建築デザイナー</p> <p>建築をデザインするのに必要なことを学び、タウン内の建物(仕事スペース)をデザインするコンクールを行い、最優秀賞に選ばれたデザインは翌年実現します。2015年は「消防署」をデザインしました。 協力：(社) 高知建築士会青年委員会</p>	<p>とさっ子総合病院</p> <p>傷口の縫合、採血の仕方、薬の調合の仕方など、医師・看護婦・薬剤師の仕事を体験します。また、消防署とも連携して、救急搬送された患者さんの手当てを行います。 協力：(一社) 高知医療再生機構、(公社) 高知県看護協会、(公社) 高知県医師会、(株) タカノ</p>	<p>新規開設店舗</p> <p>「とさっ子タウン2015」では、こどもたちが応募した仕事として、「Art shop」、「いるいる局」、「リサイクルショップ」、「しゅてき屋」、「くじ引き屋」、「小物屋さん」、「女の子向けざっか屋」など、26店舗のパラエティに意図が生まれていました。</p>	<p>アカデミー</p> <p>タウン内には、お金を払って学べる「アカデミー」があります。魚の生態学、竹のこことや竹製品、着物の着付け、美味しいお茶の入れ方、雑誌を切り抜いてコラージュづくり、楽しく防災を学ぶ、考古学など、バラエティに富んだ講座があります。 協力：魚と山の生態学研究所、竹虎 (株) 山竹竹材店、科平漢堂、(株) ビバロ、高知県立美術館、高知工科大学防災ボランティア団体 KPAO、四国環境パートナーシップオフィス</p>

2 ～週1回給食を グレードUPする～

短期

■旬の食材など、通常300円の給食を週に1回500円の給食にグレードUPし、差額は市が負担する。

- ・給食で出せるメニューの幅が増える。
- ・今ある給食の質を向上できる。
- ・毎日食べる給食なので、週1回グレードUP給食があるというのは、親も嬉しいし、子どももいつもの給食より豪華なものが食べられる。
- ・赤岡商店街で行うことで商店街の活性化にも繋がる。
- ・季節毎に年に4回程度開催する。

3 ～香南まるごと インターンシップ～学生案

短期

■香南市にある山・海・畑などに関する職業をまるごと体験できるインターンシップ

- ・県外の人を呼び込め、インターンシップ移住も期待できる。
- ・猟師・酒蔵・醤油屋・工業関係・商店などは(学校の授業では)職場体験を受入れている。
- ・現在、工業関係のみインターンシップに対する補助金がある。(進み具合によっては補助金の幅を拡げることも…)

4班 「いっちきちーもんちきちー」

- ⑬工科大学 山村果南
- ⑬地域支援課 入水香瑠
- ⑦高齢者介護課 名倉海子
- ⑪企画財政課 嶋内裕子
- ⑤市民保険課 高橋 聖



～移住者の 起業支援と 子育て～ (3つの柱でガッチリサポート)

1 移住者への発信方法見直し。

■移住者にアンケート調査し、情報

現在市はホームページでの発信や移住促進フェア(東京・大阪など首都圏)に年4回ほど行ってPRしている。

↓

(提案)◇明日の会の中で、さらに提案してもらう

◇(嶋内)高知市は転入者にアンケートをとっているらしく、ホームページを見ると、まとめられて50ページ程の冊子がアップされていた。

香南市も、移住者の要望や意見を聞くためにも、長い転入手続きの待ち時間のあいだに、アンケートを書いてもらうようにすればどうか。

2 ②空き家を活用した企業応援

■夢を叶える支援

課題として(移住者がやりがいをもって働ける環境が必要)

現状「香南市は空き店舗対策事業費補助金」と「香南市空き家改修事業費等補助金」があるが、空き家を改装して、住居兼店舗(カフェなど)にするには適用されないので**市単独補助事業**で、そういった「古民家カフェ」や「おうちパン屋」みたいなものを作りたいと思っている人のニーズに答える。

3 子育て世代の移住者や 市民の為の提案として

■0歳児保育の充実(保育士の移住促進など)

(現状)香南市は待機児童こそないが、0才児児童の年度途中の入所に関しては対応が難しく、1人の空きに対して、8~10人応募がある状態。(具体的に何人不足しているかは把握できない:こども課確認)

また、全国の保育士の求人倍率は3倍、東京都などでは5倍と、大変厳しい状況である。

飛び抜けた特典があれば来てもらえる可能性が増えるはず。

そこで、

◇地域おこし協力隊の(保育士版)をつくる!

※特典:選べる住居付き

・(市の構える無料住居、空きアパートなど)←できるだけ生活に便利な場所を提供する

・(3年以上住むともらえる中古住宅←空き家を活用する)

◇保育士奨学金をつくる(市単独補助金)

特典:香南市内の保育関係施設で5年以上働くと免除される

◇公園を増やす

(就学前児童が親子で遊べる・全天候型対応・知育、体力増進ともに図れる 例:阿蘇ファームランドの健康チャレンジ館のようなもの・場所:香南市外から人が集まりやすい、道の駅の駐車場(やすらぎ市)一部に設置すれば)短時間の期間限定でしか人を呼べなかった所が1日、親子で食べて遊べる過ごせる施設に変身する!

また、年少の子は親が活動的で、親子で一緒に遊ぶことが、基礎体力の向上に繋がるとのデータ結果が高知大の研究ででていた。←出前出張講座第2回講義より)

※海側に箱物を建てるのは難しそうだから、ゲルとかテントとか、移動式で定期的に各所を回れるような施設を想定しています。



阿蘇ファームランドの健康チャレンジ館